



チェーンソーの始動



最終編集 2019年11月15日

チェンソーを始動する前に、お使いのチェーンソー用の取扱説明書をお読みください。モデルによって操作方法が異なるためです。また、必ず作業する地域の法令や規制を遵守してください。

チェーンソーを始動する際は、必ずチェンブレーキをかけてください。チェーンソーモデルの多くは、「ハーフスロットル」位置で始動できます。この位置では、チェンブレーキがかかっていないとチェンが回転することがあります。チェーンソーを始動する際の安全な位置は2通りあります。地面に置くか、チェーンソーを両脚の間に挟むかです。

方法

2つの始動位置

地面に置く場合

1

右足をリアハンドルに入れて立ち、左手でフロントハンドルをしっかりと握ります。左腕はまっすぐ伸ばしたままにしてください。

2

右手でスターターハンドルを引きます。エンジンが点火するまで繰り返します。



両脚の間に挟んでチェーンソーを始動する場合

1

左太ももと右膝の後ろの間にリアハンドルを挟みます。

2

左手でフロントハンドルをしっかりと握ります。左腕はまっすぐ伸ばしたままであることを確認してください。



方法

冷機エンジンの始動方法

1

チェンブレーキを始動させます。

2

チェンソーにプライミングポンプが装備されている場合は、燃料が見えてキャブレターに入るまでバルブを数回押しします。

3

チョークを作動させ、(一部のモデルでは)デコンパバルブを押します。

4

エンジンが点火するまで、スターターハンドルを引きます。チョークを戻し(ハーフスロットル)、チェンソーが始動するまで再び引きます。

5

チェンブレーキを解除し、一度加速させた後、エンジンがアイドリング状態になってから、必要に応じて再度チェンブレーキをかけます。

方法

暖気エンジンの始動

エンジンが暖まっている場合、チェンソーはチョークなしで始動します。手順は冷機エンジンの始動方法と同じですが、チョーク操作は省略します。エンジンが始動しにくい場合は、ハーフスロットルにします。一度チョークを作動させ、そのあとチョークレバーを指で戻すことで、ハーフスロットル状態となります。

始動時の点検



チェンソーが次の点検のいずれかに不合格の場合は、いかなる状況でも使用しないでください。

チェンソーを使い始める際は、毎回必ず次の機能を点検してください。

方法

慣性機能(自動ブレーキ機能)の点検

1

チェンソーのエンジンが停止した状態で、ガイドバーを切り株やその他の安定した物の上で保持します。落下させるチェンソーから切り株までの距離は、チェンソーのモデルやガイドバーの長さによって異なります

2

フロントハンドルを放し、重力に任せてチェンソーを落下させ、切り株に向かって、リアハンドルを中心に回転させます。

3

ガイドバーが切り株に当たった瞬間、チェンブレーキが作動します。



方法

チェンブレーキの点検

1

チェンソーを始動します。チェンソーをフロントハンドルとリアハンドルでしっかり保持します。

2

加速してからスロットルを開放します。

3

左手首をガードの方向に回して、チェンブレーキをかけます。このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

4

惰性で回転していたチェンはすぐに停止します。



5

チェーンソーに TrioBrake™(トリオブレーキ)が装備されている場合も同じ手順を実行しますが、右手レバーの点検は、ブレーキがかかるまで右手首を上動かしてリアブレーキガードを作動させます。ソーチェーンはすぐに停止します。



方法

チェーンの潤滑の点検

1

チェーンソーを始動します。チェーンソーを切り株または丸太の上で保持し、エンジンの回転数を上げます。

2

切り株または丸太にオイルの線が残る場合は、チェーンの潤滑が正常に機能しています。

